

南日本酪農協同株式会社SDGs宣言

私たち南日本酪農協同株式会社は「お客様の毎日の健康づくりに貢献するため、南九州の酪農家とともに安心安全な商品をお届けします。」を経営理念のもと、事業活動を通じて国連が提唱する国際社会全体の目標「SDGs」の達成に向けて、企業活動に取り組んでまいります。

2022年3月1日

代表取締役社長 有村義昭

SDGs 達成に向けた 取り組みをはじめています

乳業メーカーとして
できることを考えました

SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは

Sustainable Development Goalsの略で、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されます。すべての人がこの地球でより良く暮らしていくことを目的に掲げられた国際的な目標であり、2015年9月に国連総会で採択されました。

貧困や飢餓、不平等、環境やエネルギー、気候変動、教育、自然保護など、地球規模で解決すべき課題に対して17の目標と169のターゲット（具体的な目標）が掲げられています。これらを2030年までに達成することを目標にしています。

「誰一人取り残さない」という基本精神のもと、先進国、開発途上国に関わらず世界中の人々が暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するため、世界規模で取り組みが行われています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 17の目標

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも 経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリシップで目標を達成しよう

南日本酪農協同は、
持続可能な社会の実現に
貢献していきます。

私たちが目指し続けるのは、地域の酪農家の皆様や販売店の皆様とともに安心安全でおいしい商品、お客様の健康に役立つ商品を作ってお届けすることで。この理念をSDGsの目標と照らし合わせると、乳業メーカーとしてのこの先の行動指針を多く見出すことができます。すでに学校給食でのストローをなくすなど始めていることもあります。これからさらに具体的で現実的な行動を起こし、持続可能な地域や世界の実現に向けて貢献していきます。

南日本酪農協同が取り組む4つのテーマ

テーマ	行動指針と具体的な取り組み	関連するSDGs
環境 環境問題への取り組み 	温暖化対策や循環型経済社会の構築のために、環境負荷と環境リスクの低減に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ、温室効果ガス排出削減 ● 製品容器の脱プラスチックまたはバイオプラスチックへの変更 ● 製品容器のデザイン印刷に使用するインクをバイオインクに変更 ● 食品ロス削減を目的とした既存製品の賞味期限延長の検討 ● 廃棄物の発生防止、削減、再利用により、廃棄物の発生を削減する 	
社会 安全で働きやすい環境 	個人の人格、個性を尊重しキャリアアップ形成や能力開発を行います。差別のない雇用と安全と健康のために快適な職場づくりに努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 個人の能力に合わせてより良い環境づくりを行い、安全に作業を進められるように推進 ● コンプライアンス研修等の実施 ● 健康経営による労働生産性向上 ● 通信教育・職層別研修等の実施 	
社会 地域社会の一員として社会貢献活動を行う 	業界や経済界の社会貢献活動に参画します。 <ul style="list-style-type: none"> ● モンゴル国立科学技術大学との共同研究の取り組みの中で、モンゴル国に対してどのような協力ができるかJICAから情報を得て検討する ● 子育て支援 ● こども宅食への商品提供 ● 植樹活動への参加 	
経済 安心・安全な商品とサービスを提供する 	商品の安全性と品質を確保し、社会的に有用な商品とサービスを開発し提供します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 食品事故による回収・廃棄をなくす ● FSSC22000及びHACCPの効果的運用 	